

平成27年度下半期指定管理者管理運営状況シート

様式 3

●施設の概要

所管課	教育委員会 中央青少年会館		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	36,201,600円(4青少年会館一括)		
施設の設置目的	青少年の健全な育成を図り、市民の教養の向上に資する。		
施設名	(1)岐阜市北青少年会館	所在地	岐阜市福光東3丁目19-18
施設概要	第1研修室、第2研修室、講義室、体育室、談話室、屋外コート(テニス)		
施設名	(2)岐阜市青山青少年会館	所在地	岐阜市小西郷1丁目56-2
施設概要	会議室、第1和室、第2和室、体育室、屋外コート(テニス)		
施設名	(3)岐阜市西部福祉会館青少年ルーム	所在地	岐阜市西荘2丁目11-23
施設概要	研修室、料理実習室、体育室 *西部福祉会館と複合施設		
施設名	(4)岐阜市東青少年会館	所在地	岐阜市前一色1丁目2-1
施設概要	研修室1、研修室2、談話室 *長森コミュニティセンターと複合施設		

●利用状況

(1)岐阜市北青少年会館		H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期
利用者数(単位:人)		12,813	12,936	12,382	11,818	9,420
各室稼働状況(%)	研修室1	39.3	28.4	42.3	40.8	63.8
	研修室2	24.3	16.1	24.0	14.5	32.7
	講義室	47.0	45.0	42.5	46.7	50.4
	体育室	83.7	77.2	74.1	73.7	38.8
	屋外コート	51.3	48.1	43.5	44.3	17.7
(2)岐阜市青山青少年会館		H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期
利用者数(単位:人)		6,850	7,689	6,035	8,203	6,352
各室稼働状況(%)	会議室1	11.3	7.0	21.3	18.5	23.9
	和室1	6.9	10.7	10.6	9.1	8.1
	和室2	9.2	11.0	10.2	10.8	10.9
	体育室	59.3	57.4	57.6	65.5	65.2
	屋外コート	8.7	3.9	5.2	7.8	5.6
(3)岐阜市西部福祉会館青少年ルーム		H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期
利用者数(単位:人)		7,395	7,763	5,293	6,063	5,464
各室稼働状況(%)	研修室1	55.4	59.7	49.6	50.8	47.7
	料理実習室	18.8	31.2	16.0	19.2	17.1
	体育室	68.5	70.4	56.7	58.9	51.6
(4)岐阜市東青少年会館		H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期
利用者数(単位:人)		12,167	11,965	12,057	11,225	11,765
各室稼働状況(%)	研修室1	39.9	37.4	35.5	42.0	41.7
	研修室2	47.2	47.0	41.9	50.9	47.6
	談話室	56.7	52.1	53.3	51.0	51.1
		H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期
利用者数合計(単位:人)		39,225	40,353	35,767	37,309	33,001

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市青少年会館条例及び施行規則を遵守している。 ②勤務ローテーション表を使用するなどして、計画的に人員を配置している。また、各館に教員OBや資格を有する職員を配置し、その経験や専門性を活かせるよう配慮している。 嘱託職員 4名 臨時職員 12名 (全16名のうち教員資格保有者 11名) ・岐阜市福祉部 高齢福祉課による講座を受講し、 認知症サポーターの資格を取得 した。 ③広報誌ふ、館内掲示、チラシ、ホームページ等で広く提供している。 ・H28.3月末に ホームページをリニューアル ④会館利用者に対してアンケートを実施し、要望や苦情を的確に把握し、速やかに対応している。また、毎月館内会議を開き、接客態度の向上に努めている。
指定事業・自主事業	指定事業 ①青少年教育活動の推進 ②少年講座等の企画、開催、支援 ③相談業務 ④空き部屋の利用促進 ※自主事業	○指定事業 ①活動拠点支援事業 ・下半期利用状況： 利用者数 39,225人 (前年同期 35,767人) 利用団体数 2,594団体 (前年同期 2,329団体) ②講座事業 ・冬期少年講座： 30講座開催 参加者 590人 【7講座増】 【234人増】 (定員 579人 応募者 733人) 【171人増】 【330人増】 ・定期少年講座： 3講座開催 延べ参加者 113人 (定員 60人 応募者 43人) ③相談事業 主に青少年とその保護者を対象とした教育相談 ・下半期相談件数：58件 ④学習拠点支援事業 小中高生に空き部屋を学習ルームとして提供 ・下半期利用者数：1,590人 ※自主事業 ・親子わくわく講座： 5講座開催 参加者 97人 【3講座増】 【59人増】 (定員 50家族102人 応募者 100家族204人) 【38家族 79人増】 ・ 子ども会サポートプラン 子ども会活動へのサポートを本格実施 市内全単位子ども会に「冊子：子ども会サポートプラン」を配布 ○主催事業総計： 38講座 参加者 800人 【9講座増】 【219人増】
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②警備業務 ③ねずみ、害虫等の防除等 その他、施設・設備等の管理については、仕様書・事業計画書のとおり業務を遂行している。	①⇒日常清掃：臨時職員による清掃を期間中日常的に実施。 定期清掃：再委託業者によるワックスがけ、ガラス清掃実施。 ②⇒職員による日常点検：開館日に職員が、出勤時と退勤時に日常安全点検を実施。 機 械 警 備：再委託業者による夜間と休館日終日の機械警備を実施。 ③⇒敷地内の樹木剪定を職員で行う。 害虫等を発見した場合はその都度薬品を使用しない捕殺を実施。 屋内及び屋外の病害虫調査を実施。 (北:2月14日、青山:2月17日・19日)

<p>施設修繕</p>	<p>下記の観点からの修繕実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備 	<p>○迅速な修繕の実施(利用者からの指摘)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者とのコミュニケーションを重視し、窓口での声掛けや利用後の要望などの聞き取りを行っている。 ・利用者アンケートに施設への要望等の欄を設け、利用者からの声を収集。 ・修繕実績 <ul style="list-style-type: none"> ・北青少年会館:玄関自動ドアエンジン取替修理299,700円 ・北青少年会館:体育室屋根雪止め改修69,444円 ・青山青少年会館:廊下設置誘導灯の取付部補強修理62,640円 ・その他全6件実施 <p>○職員による修繕・整備事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員による体育室床ワックスがけや、施設内樹木・植栽の剪定。 ・室内のくすんだ壁面や外壁の落書きを塗装補修。 ・駐車場の白線引き直し作業 ほか
<p>危機管理・法令遵守</p>	<p>①個人情報の保護</p> <p>②非常時の対応策</p> <p>③関係法令の遵守</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の保護体制について、窓口での表示やホームページでの公開を実施。 ・個人情報保護担当者を配置。 ・「個人情報保護宣言」表示継続。 ・「マイナンバー取扱い研修会」を実施(12月3日)。 ・「特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針」・「特定個人情報取扱規程」を定めた(12月9日施行)。 ・4館に、特定個人情報事務取扱担当者を配置。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員による定期安全点検の実施。 ・医薬品(応急処置用、熱中症対応用保冷剤等)、防災用品(緊急放送ラジオ、職員用ヘルメット・寝袋)の常備。 ・また、「青少年会館危機管理マニュアル」を作成し万一の場合の対応に備えている。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「不当要求防止責任者選任事業所」プレート設置継続。 ・岐阜市青少年会館条例及び施行規則に則り、「青少年会館業務マニュアル」を作成し、利用上の諸問題やトラブルへの対応について対策を共通理解し、職員全員が同様の対応ができるよう努めている。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>①施設利用者アンケート ・全ての施設利用団体に手渡しでアンケートを実施。</p> <p>②「ご意見箱」の設置と「あと一声運動」による聞き取り調査を継続。</p> <p>③主催事業参加者アンケート ・講座参加者に手渡しでアンケートを実施。</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>①施設利用者アンケート 「利用回数について」 2,092件 初めて:33件 1.6% 複数回:2,059件 98.4% 「全体の満足度について」 2,092件 大変満足:62.8% 満足:35.6% 普通:1.6% 不満:0% 大変不満:0% (98.4%) 「施設設備について」 2,092件 大変満足:62.3% 満足:35.7% 普通:2.1% 不満:0% 大変不満:0% (98.0%) 「職員の対応について」 2,092件 大変満足:65.9% 満足:32.8% 普通:1.3% 不満:0% 大変不満:0% (98.7%)</p> <p>【主な意見】 「寒い日でしたが、ストーブの貸出しありがとうございました。(北青)」 「大きなスクリーンを作っていただき、快適な研修ができました。心遣いに感謝します。(ルーム)」 「夜間に利用した時に、駐車場の誘導があり、助かりました。(青山)」</p> <p>②主催事業参加者アンケート (①とても楽しかった・②楽しかった・③普通・④楽しなかった・⑤全然楽しなかった)</p> <p>◆冬期少年講座 「講座は楽しかったか」 初めて参加:145件 ①:82% ②:17% ③:1% ④:0% ⑤:0% (99%) 複数回参加:402件 ①:88% ②:10% ③:2% ④:0% ⑤:0% (98%)</p> <p>◆定期少年講座 「講座は楽しかったか」 初めて参加:14件 ①:100% ②:0% ③:0% ④:0% ⑤:0% (100%) 複数回参加:28件 ①:89% ②:11% ③:0% ④:0% ⑤:0% (100%)</p> <p>◆親子わくわく講座 「講座は楽しかったか」 初めて参加:20件 ①:85% ②:15% ③:0% ④:0% ⑤:0% (100%) 複数回参加:28件 ①:82% ②:18% ③:0% ④:0% ⑤:0% (100%)</p> <p>【主な意見】 「講師の先生が優しく楽しかった。教え方がとてもよかった。」(ピースでプレスレット・ピカピカ光るどろだんご 他) 「学校では学べないことがいろいろ分かった。普段できないことができた。」(楽しい化石教室・バステルアート 他) 「満足できる作品ができた。自分だけのカップができた。英語でしゃべれてうれしかった。」(生け花・親子でポーセラーツ・英語でクッキング 他) 「みんなで教え合って楽しくできた。みんなと協力してできた。」(クリスマスクラフト・クッキング 他)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>利用者から寄せられた意見等に対して、軽微な要望、修理、改修等については職員で速やかに対応するほか、業者対応を要するものについては見積もりを依頼し、後日対応している。</p> <p>【主な意見と対応】 ・「談話室のドアを開めると大きな音がするので、直してほしい。」(青山) ⇒すぐに確認し、職員で修理対応。後日、「早々に直していただき、ありがとうございます」の記載あり。</p> <p>・「駐車場の白線がほとんど消えているためか、はみ出している車がある。白線を補修していただきたい。」(青少年ルーム) ⇒ペンキを購入し、職員で補修。後日、「駐車場の区分用白線、要望に応じていただき、ありがとうございました。」の記載あり。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

【青少年会館】

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	I 住民の平等 利用が確保 されること	(1)『住民の平等利用が確保されること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	条例・施行規則を遵守して、公共施設の設置目的に則って、全ての住民が公平・平等な条件でサービスを受けることができるか。	A	A	A
		(2)平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	年少者から高齢者、障がい者など幅広い層に、要望、改善点についての意見を聞き、これをもとに協議して、円滑で公正な施設運営に努めているか。	S	S	S
		(3)情報公開、広報の方策	利用規程、主催事業案内、活動内容等をパンフレットやホームページ、広報ざぶ等に掲載し、情報提供を図っているか。	S	S	S
		(4)個人情報保護するための方策	個人情報保護規定を制定し、個人情報の保護や情報公開の取り扱いについて、十分配慮しているか。	S	S	S
		(5)その他指定管理者の提案によるもの				
		区分評価				
効果性	II 事業計画書 の内容が、 対象施設の 効用(設置 目的)を最大 限発揮する ものである こと	(1)『事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	岐阜市教育委員会との連携を密にし、施策を実現し、その一翼を担うため、岐阜市の人づくり、街づくりに貢献すべく取り組んでいるか。	A	A	A
		(2)既存業務の改善、工夫又は新規の魅力提案の有無、内容	各種講座の充実・拡大、相談室の開設により青少年の健全育成に寄与しているか。	SS	SS	SS
		(3)利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者・講座受講生に対してアンケート調査を行い、結果を集約し、改善に努めているか。	S	S	S
		(4)利用者に対するサービス向上の方策	講座受講生や利用団体に対しアンケートを実施し、要望や満足度を調査し、事業展開や職員の接遇等に生かしているか。	SS	SS	SS
		(5)利用促進、利用者増の方策	施設紹介や主催事業のPR活動とともに、新規の事業開拓に努め、利用拡大を図っているか。	S	S	S
		(6)サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	質の高いサービスを維持するために、利用者の声や意見を把握し、施設運営に取り入れるシステムや相談窓口を設けている。	S	S	S
		(7)施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	青少年会館の設置目的を踏まえつつ効率の良い施設管理を行うために、管理及び運営にバランスのとれた人材を配置しているか。	S	A	A
		(8)その他指定管理者の提案によるもの				
区分評価					S	
効率性	III 事業計画書 の内容が、 管理経費の 縮減が図ら れるもので あること	(1)『事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	設置目的や安全性、利便性を維持しつつ効率的運用を図り、管理経費削減に努めているか。	A	A	A
		(2)指定管理経費の設定額	収支予算書との妥当性はどうか。	A	A	A
		(3)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービスを低下することなく、コストの縮減に努めているか。	S	S	S
		(4)収支計画の妥当性	削減できる予算、プラスしなければならない予算について、検討、研究しているか。	S	S	S
		(5)管理経費削減の具体的方策	安定性・安全性を損なわない範囲で、具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	S	S	S
		(6)スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	職員の担当や勤務時間を工夫し、より効率よく業務ができるように配置しているか。	S	S	S
		(7)その他指定管理者の提案によるもの				
区分評価					S	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
安定性 安全性	IV 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(1)『事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	教育文化施設を管理運営するために、その事業の運営に適した人材の採用と専門性を有するスタッフの育成に取り組んでいるか。	S	S	S
		(2)当該公の施設に類似あるいは関連する事業、業務などの実績	類似施設等の管理実績を参考にしているか。	A	A	A
		(3)経営基盤の安定性	公益事業に精通した団体で、物的能力、人的能力、専門的能力を有しているか。	S	S	S
		(4)組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	各職員の専門知識や経験が職務分担に活かされているか。	S	S	S
		(5)スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務しやすい職場環境ができていますか。	S	S	S
		(6)スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	各種職員研修会を行い、職員の資質向上を目的とした研修計画書が作成されているか。	S	S	S
		(7)リスクへの対応策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	夜間防犯対策・安全点検・館内外の巡回・日常清掃・消防訓練等を実施しているか。また緊急事態における対応が確認されているか。	S	S	S
		(8)リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	①会社更生法や民事再生法、破産法に基づき更生、再生、破産手続きの申立てをしていないか。 ②市税等の滞納はないか。	S	S	S
		(9)その他指定管理者の提案によるもの				
		区分評価				
貢献性	V 事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1)『事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	市の方針に基づいた計画で、地域の振興・活性化に貢献する計画となっているか。	A	A	A
		(2)地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地元の法人や青少年団体、ボランティア組織等との連携に努めるとともに、その育成に取り組んでいるか。	S	S	S
		(3)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用	施設の維持管理等のため、従事者を雇用する場合、地元の住民等の雇用に留意しているか。	S	S	S
		(4)地元での資材等の調達	資材購入にあたっては、地元の業者による調達に留意しているか。	S	S	S
		(5)地元での社会活動等への参加	地元で実施される社会活動等への積極的な参加に努めているか。	S	S	S
		(6)その他指定管理者の提案によるもの				
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>(I-3))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬期講座チラシについて、市内地域を全て各施設で割り振り、全小学校区に直接持参して配布依頼。 ・冬期講座について、「ホームページ」でも情報提供。 ・3月に、事業団全施設のホームページをリニューアル。 ・各施設の部屋の様子を写真入りで紹介するなど、わかりやすく興味を引きやすい内容に一新し、利用拡大に努めた。 ・同居する施設の定期刊行物(「長森かわら版:第355号(東青:12月発行)」・「長森コミセンだより:第40号(東青:3月発行)」)に講座紹介の記事を掲載。 ・会館独自に利用案内チラシを作成し、地域への回覧を継続。
	<p>(II-2))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座の充実、拡大について、冬期講座(少年・定期・親子)を合わせて38講座を開催(前年度29講座)。9講座増加拡大。 ・岐阜市型STEM教育(サイエンス:科学・テクノロジー:技術・エンジニアリング:工学・マスマティクス:数学)を意識した、主催講座の企画を行った。 ・新規講座(「素敵なクリスマスキャンドル作り」「よくまわる木ごまを作って遊ぼう」「マジパンアート」……等の開設。 ・アンケートの分析などから魅力ある講座の企画により、全講座の定員741人に対して、980人の応募。3~4倍を超える応募のあった講座もあり。 ・主催講座アンケートでは、(少年)(定期)(親子)の3つを合わせた平均で、初めての参加者:99.7% 複数回目の参加者:99.3%の子ども達が「とても楽しかった・楽しかった」と回答。 ・相談事業も開設しており、下半期相談件数は 58件。 ・12月には、「子ども会サポートプラン」を本格実施。岐阜市の全単位子ども会に、「冊子:子ども会サポートプラン」を配付。 (2月28日には、「岐阜地区子ども会育成事例発表会」にて、岐阜市教育長が「子ども会サポートプラン」を紹介。) ・子ども会役員等対象の「子ども会の活動相談」も、下半期で30件の相談あり。うち、活動につながった団体が8団体。地域の子ども会育成会活動に貢献。
	<p>(II-4))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内会議や施設長会等で、「あと一声!運動」の資料による共通理解や「部屋チェックマニュアル」確認による対応の徹底を継続して図っている。 ・要望や苦情等に対する即時対応の他に、「利用者の満足度を更に向上させるためのサービス」を実施している。 (アンケートや声掛け調査での意見・感想等に対するサービス向上対応例) ①職員による定期的な体育室の床面へのワックス塗布 ⇒ 床面が滑るようになり、安全面からも良くないため定期的に塗布することで、利用者から感謝の言葉を戴いている。 ②職員による駐車場の区分用白線の引き直し ⇒ 消えかけてわかりづらい白線を要望に応えて引き直したことで、お礼の言葉を戴いている。 ③優先順位を考えた設備備品の購入 ⇒ 卓球台やテニスコートネットなどを順次購入。予算執行の状況を見ながら、利用者の声に応えた。 <p>・利用者アンケートでは、職員の対応について「大変満足・満足」で 98.7% (H27上半期98.5%・H26下半期99.0%・H26上半期97.7)を獲得している。</p>
	<p>(II-7))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設に、職員4名中教員OBの嘱託職員が1名、同じく教員OBや資格を持った臨時職員3名の配置を継続。 ・施設職員の 69% (16人中11人)が教員資格を保有。 ・各館に「校長・教頭」経験者の配置が継続しており、経験や専門知識を活かすことで、青少年への対応の仕方や教育相談が充実。 ・男性、女性、幼児からお年寄りまで、多岐にわたる利用者の対応に備え、性別や年齢等バランスのとれた職員の配置するため、4月に新規に女性職員を採用。(北青少年会館に配属。東青少年会館及び青山青少年会館には、従来から配置済。)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>(III-4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度予算作成にあたり、利用者サービスに影響がないよう、検討・研究を行った。 ・経費縮減に努めた平成26年度・平成27年度の実績を参考に、「通信運搬費(3.9%減)」「燃料費(7.6%減)」「賃借料(7.0%減)」「管理用消耗品購入費(6.6%減)」等を削減。 ・ただし、利用者サービスに影響がないよう、「主催講座に係る材料費(消耗品費)」や「講師謝金(諸謝金)」については充実に努めるため、削減対象とはしなかった。 ・限られた予算の中で更に講座の充実に努めるため、平成28年度には自主財源による「岐阜キラメキ講座」の開催を計画し、指定管理費での管理運営に支障をきたすことなく市民サービスに努めることとした。 ・平成27年度には、「経費削減シートによる月々の光熱水使用量・料金のチェック」や「エコオフィス運動」、「自前による修繕、施設整備」により縮減できた経費により、「安全を確保するための修繕」や、施設備品の充実に充てることができた。 <p>(IV-6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多数の職員研修会を実施。教育文化施設を管理運営するための資質向上に努めた。 ① 毎月の施設長会での人権研修会の開催。 「企業のCSRについて(10/29)」「女性の人権について(11/26)」「子どもの人権について(12/17)」「外国人の人権について(1/28)」「障がい者の人権について(2/25)」「視覚障がい者との筆談について(2/25)」 ② 職員を対象とした人権研修会の開催。 「認知症サポーター養成講座(2/17)」「車椅子・高齢者疑似体験研修会(3/17)」「障害者差別解消法研修会:岐阜市主催(2/24~26)」 ③ 全役員職員を対象とした人権研修会の開催。 「人権について~岐阜市人権啓発センター講師講演会(3/25)」 <p>(IV-7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の見回り点検や業者からの点検報告をもとに、利用者の「安全を確保するための修繕」を実施。 ① 前年度、屋根からの落雪を確認したため、体育室屋根雪止め改修設置。(北:11/10) ② 屋外テニスコートの照明カバー落下防止のため、古い照明灯8灯のカバーを撤去。(北:1/22) ③ 建築設備定期点検結果を受けて、廊下天井の誘導灯取り付け金具を修理。(青山:2/13) ④ 自動ドア定期点検の指摘を受けて、玄関自動ドアエンジン部取替え修繕を実施。(北:3/30) <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者及び会館周辺の「安全に配慮した方策」の実施。 ① 夜間の駐車場での事故防止のため、樹木やフェンスの支柱に反射テープを貼付。(青山:1月) ② 経年劣化による傷みが激しい卓球台の一斉更新。(3館:3月) <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どものために、「子どもスマイルステーション」の開設を継続中。玄関先で困っている児童に声掛けをしたことで傘の貸出しを行った事例もあり(東青:12月23日)、子どもの緊急時に役立つなど地域での積極的な安全・安心に貢献している。 <p>・その他の評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>(III-2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「管理経費の設定額 収支予算書との妥当性」について ⇒ 予算差引簿、予算管理月報を定期的にチェックすることで予算執行状況を確認し、平成27年度においても適正な執行を心がけた。 <p>(III-3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「指定管理経費の妥当性 利用者へのサービス維持とコストの縮減の両立」について ⇒ 下期も自主事業を継続して開催。さらに今後は、指定管理事業で開催した一部の講座を自主事業で開催することにより、指定管理費の縮減を計画している。 <p>(III-4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「収支計画の妥当性 メリハリをつけた予算運用の検討、研究」について ⇒ 「今期の取組みに対する評価」に記載したとおり。 <p>○ 評価委員会の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各評価項目の具体的な業務要求水準に従い、業務が履行されている。

今後の取組み	(II-(2)(5))
	(V-(2)(5)) (II-(5))
	(I-(3))

●所管課の意見

<p>○「指定管理者の選定基準に基づく評価」・「指定管理者の取組みに対する自己評価」について</p> <p>・「III-(4)、IV-(7)」について、従来の事業計画の範疇に加えて、縮減した経費を安全を確保するための修繕や市民に提供できる備品(卓球台)の購入等、より効果的な執行に振り向けた事業運営を高く評価し、「指定管理者の取組みに対する自己評価」のとおり、S評価に引き上げる。</p> <p>【所管課がSS評価を行った根拠及び指定管理者と異なる評価を行った項目】</p> <p>・II-(2)について、冬期講座、定期講座、親子わくわく講座を合わせて38講座を開催し、前年同期と比較して講座数・参加者数とも大きく増加(9講座、のべ219人の増※講座事業について、平成25年度下半期と26年度下半期との比較においては、3講座、のべ75人の増)し、創意工夫を重ねて実績を伸ばしていることを高く評価し、SS評価とする。(SS評価:5期連続)</p> <p>・II-(4)について、施設利用者アンケート「職員の対応について」が大変満足・満足を合わせると98.7%と、利用者の満足度の高さを維持しており、各館とも利用者に対して懇切丁寧な対応を積み重ねた結果であり、高く評価し、SS評価とする。(SS評価:4期連続)</p> <p>・II-(7)について、臨時職員の退職等に伴う会館職員の補充に際して、教員免許の有資格者に限定した採用を行うことの難しさは理解する。その上で、会館職員のうち教員免許の有資格者の割合が対前年同期比で微減(81.2%→68.7%)となっており、女性職員の更なる増員等による教員資格保持者の減少でないことも明らかであり、当期においては概ね事業計画書の範疇に留まる成果と判断し、Aのままとする。(A評価:8期継続)</p> <p>○利用者の増減について</p> <p>・全ての会館で前年同期と比較して利用者数が増加しており、とりわけ当期は、青山青少年会館の利用者増(815人増)が目玉を引く。青少年等による無料使用と、利用団体重複時の貸館使用を併用している関係で、青山青少年会館の「利用状況」の表に挙がっていない施設(談話室)について、午前の稼働率30.7%、午後の稼働率69.2%、夜間の稼働率49.8%と体育室に次いで頻りに利用されている実態がみられた。統計上見えてこない施設についても有効活用されている青山青少年会館の隠れた努力も、講座事業の充実・拡大(青山青少年会館の冬期講座3講座増。新規講座4講座企画。)と呼応して利用者増に結び付いたと思われる。</p> <p>○今後の方針について</p> <p>・今後とも会館利用者等の安全性、利便性を維持しつつ管理経費の効率的な運用に留意され、安全確保のための修繕やサービス向上のための機器更新等に積極的に対応するよう、研究、検討を継続されたい。</p> <p>・今後も教育委員会の指導の下、各種少年団体との連携に力を入れながら、事業を一層充実させていくことを期待する。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>・青山青少年会館の利用者増については、要因を分析し、他の青少年会館と共有できると良い。</p> <p>・利用者数を上げることは良いことだが、目標値を設定し、施設のあり方や人のあり方をある程度予測していくと良いのではないかと。</p>
